

柿田川自然再生検討会

設立趣旨

狩野川水系では、河川の整備についての基本となるべき方針を定めた「狩野川水系河川整備基本方針」が平成12年12月に策定され、河川整備基本方針に沿って計画的に河川の整備を実施するため、河川整備の目標に関する事項や河川整備の実施に関する事項を定めた「狩野川水系河川整備計画」が平成17年12月に策定された。

柿田川における河川環境の整備と保全に関する目標としては、「湧水のみを源とし、類い希で貴重な自然環境を有する柿田川については、各種情報を広く一般に公開し環境保全の啓発を図るとともに、今後とも地域一体となって独自の河川環境を構成している生態系や湧水の保全に務める」こととしている。

近年の柿田川においては、土砂が流出・堆積し、本来生息しない植物の繁茂や外来種の侵入など、貴重な生物の生息に影響を与える課題が発生している。

河川整備計画の目標である柿田川の河川環境の保全・再生を目指した「柿田川自然再生計画」を策定するにあたり、様々な観点から審議し、助言をいただくため、自然保護団体・有識者・行政から成る「柿田川自然再生検討会」を設立する。